

戦跡紹介

三光神社の折れた鳥居

「真田の抜け穴」で知られ、隣には旧真田山陸軍墓地もある三光神社は、西暦4世紀末に即位した反正天皇の時期に創建されたと伝えられ、日本全国で唯一の中風除けの神として知られていましたが、1945(昭和20)年6月1日の空襲で周辺地域ともども焼失しました。その後奉賛会が設立されて三光神社は再建されましたが、そのとき保存されたもののひとつが写真手前の鳥居です。鳥居には奉獻した江戸時代の相撲取りの名前が記されていますが、それも折れて半分読めなくなってしまっています。



ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え、“平和の首都”大阪の実現をめざす『ピースおおさか友の会』会員を募集しています。

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示等の催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。
会費	◇個人会員 年額2千円 ◇団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行) ◇郵便局振込

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられた
ご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- 戦争はとても怖いとわかった。もう戦争などおこしたくないと思った。
大阪市(12歳)
- B展が一番印象に残りました。戦争の悲惨さが一番よくわかったから。
奈良県橿原市(15歳)
- 小学校の時、遠足で来て、今回は2回目ですが、小学校の時と感じ方が変わっており、すごく心にひびきました。
大阪市(18歳)
- 戦争は決してしてはいけなない! それをずっと語りつないでいくことも大切だと思います。
兵庫県川西市(48歳)
- 疎開児童の生活をもっと展示してほしい。現代の若い親と子どもたちに苦労や、生活の厳しさを教えていただきたい。
大阪市(74歳)
- どんなに我々人類の歴史が苦痛に満ちたものであっても、展示し続けてください。(原文は英語)
フィリピン(20歳)
- 大変心を動かされ、多くのことを学んだ博物館でした。(原文は英語)
ラトビア(20歳)
- 真の民主主義の国がそうであるように、自国の歴史を包み隠さず描いていることはすばらしい! (原文は英語)
メキシコ(37歳)
- すべての生徒たちが、特に小学6年生がピースおおさかに来て、戦争と平和を学ぶべきです。(原文は英語)
アメリカ(44歳)
- 私でさえ戦後の生まれですが、戦争を語り続けなければならないことはよくわかっています。(原文は英語)
イギリス(64歳)

寄贈品紹介

●シベリア抑留捕虜からの軍事郵便

1945(昭和20)年8月8日の対日宣戦を経て、ソ連軍は「満州」および樺太に侵入しました。その結果多くの日本人将兵その他の人々がソビエト連邦に降伏し、または逮捕されてソ連邦の各地に抑留され、強制労働に従事させられました。その数は575,000人に上ると言われています。寄贈者の叔父「シンノスケ」さんも抑留された人々の一人でした。葉書からはウラジオストックに抑留され、強制労働をさせられていたことが読み取れます。すべてカタカナで記された文面には、「コトシ キカンデキルカト オモツテイマシタガ ダメデシタ 1948ネン ノ サクラノハナノ サクコロニハ ミナサマニ オアイデキルデシヨウ」とあり、無念とそのなかでも夢を持つ姿が伝わります。



石田 恵美 氏 寄贈

ピースおおさか
ミュージアムショップピースおおさかに
新オリジナルグッズ誕生

ピースおおさかのおしゃれな建物を写した絵はがきをお友だちに送ってみませんか。

3枚1組 50円



ピースおおさか ご利用案内

- ◆団体見学の申込受付
- ◆戦争と平和に関する展示・映画上映
- ◆「空襲体験のお話」講師の紹介
- ◆ビデオ・DVD・図書資料の閲覧
- ◆平和学習用16ミリ映画・ビデオ・写真パネル・体験画の団体貸出
- ◆戦争と平和に関する資料の寄贈受付

資料寄贈者 2010.4.11~2011.3.31 (敬称略)

団体

尼崎市立地域研究史料館	西田勝・平和研究室
阿見町予科練平和記念館整備推進室	日本非核自治体宣言協議会
大阪市史編纂所	ピース・ウィング長崎
沖縄県平和祈念資料館	ピースあしや
「わたしの戦争と平和資料館」	ひめゆり平和祈念資料館
原爆文学研究会	ビューライツ大阪
国立歴史民俗博物館	広島大学平和科学研究センター
埼玉県平和資料館	広島平和記念資料館
滋賀県健康福祉部健康福祉政策課	平和祈念事業特別基金
昭和館	平和のための博物館・市民ネットワーク
全国疎開学童連絡協議会	明治学院大学国際平和研究所
戦争遺跡に平和を学ぶ京都の会	大和ミュージアム
戦争と平和の資料館ピースあいち	立命館大学国際平和ミュージアム
都留文科大学大学院	リバティおおさか
東京大空襲・戦災資料センター	
東京都江戸東京博物館	
豊中文学の会	
なにわ堀江1500	

個人

赤木俊夫	上野一幸	久保朋行	辻中明夫	藤原栄暢	和田美也子
油谷悦子	遠藤敬一	桑原啓善	長岡喜春	松浦重之	Carl Porter
石田恵美	岡崎悦明	越 晃一	中西俊之	松江克美	
石原義久	岡部さかえ	小松誠子	西岡誠吾	宮川一樹	
井関奈津子	岡本真治	柴田幸一郎	布川庸子	森本隆彦	
伊藤 正	岡本総由衛	高橋 潔	野澤博恵	山川美英	
伊東祐剛	奥河基子	竹谷 恵	長谷川章	山西敏弘	
井上和夫	奥村誠一	田中キヨコ	引地祐子	山根健三	
今本誠造	鯨井邦彦	谷 志朗	広実輝子	吉川加代子	
岩井春貴	久保権一	玉本英子	藤田一郎	吉川泰一	

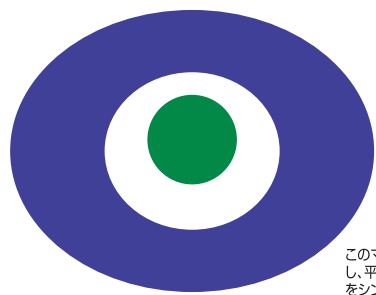
資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料及び資料に関する情報を収集し、調査・研究に役立て、後世に伝えていくため大切に保存しています。この意義をご理解いただき、資料収集にご協力くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ先● ピースおおさか

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080

2011年9月17日でピースおおさかは20周年を迎えます



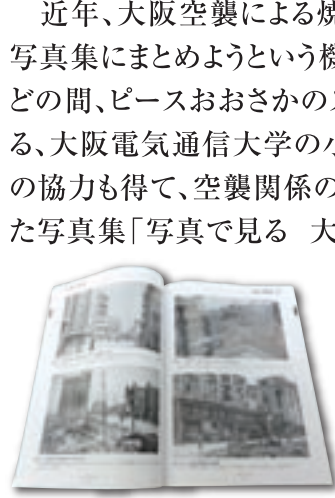
このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PERCE CENTER2011
(平成23) 6/15
No.42編集・発行／財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
ホームページ <http://www.peace-osaka.or.jp>

『写真で見る 大阪空襲』が発刊されました!

「東京大空襲の写真集はあるのに、大阪大空襲の写真集はなぜないの?」

— 長年、ピースおおさかに寄せられていた疑問の声に、やっとお応えすることができました。



絵本も出た!

ピースおおさか講堂の展示で人気の
内藤 磯美さんの絵が本になりました。

サイズ 20×22cm 21ページ 300円

東日本大震災の復興支援にご協力を!

ピースおおさかでは、東日本大震災の復興支援に取り組んでいます。平和という概念は、戦争の無い状態だけではないのではなく、環境破壊や飢餓などのほか今回の震災のように人々の平和な暮らしを脅かす状態は平和でないと考えてきました。ピースおおさかの復興支援の取り組みをご報告し、皆様方のご協力をお願いいたします。



1 「ピースおおさか号」を被災地へ派遣し支援物資を届けました

被災地の状況や被災者の日々の暮らしなどニュースで見ると心が痛みます。何か役に立つことができないか、居ても立ってもいられない思いから、府民市民の皆様支援物資の協力と呼びかけたところ、みかん2トン・バナナ1トン・水1万本・飴2万個などたくさんの品物が寄せられました。またその運搬にも協力していただける方もおられて、主に福島県内の被災地を訪問し、支援物資を届けたほか、同行していただいた歌手の「成世昌平さん」「高橋樺子さん」による歌による激励も行いました。現地では「ありがとう、元気が出たよ!」と喜んでいただいたのが印象的でした。

2 応援歌「がんばれ援歌」を制作、音楽著作権料を復興支援に!

関西ゆかりの作詞家(荒木とよひさ・もず唱平)・作曲家(岡千秋・三山敏)の方々のご協力で、東日本大震災被災者への応援歌「がんばれ援歌」(唄/高橋樺子)を制作。この作家の音楽著作権料は全額、復興支援に充てられます。CDの購入、ダウンロード、カラオケなどでご協力ください。

3 「平和の歌声カラオケ道場」を開催!

「がんばれ援歌」の作詞家・作曲家の方々+復興支援ゲスト歌手を招いて「平和の歌声カラオケ道場」を開催します。第1回目は、4月30日(土)に道場主・当館理事で作詞家のもず唱平さん・師範代・歌手の高橋樺子さん・ゲストに作曲家で三山敏さん・歌手の成世昌平さんを迎え開催、大勢の人が、なごやかな中に元氣とともに支援金が集まりました。これから毎月開催しますので、ご参加ください。



展示事業

ピースおおさか2010(平成22)年度の事業報告

4月より3月までの主な事業の様子を報告します

企画事業

収蔵品展

「焦土大阪Ⅱ～絵で見る大空襲」開催中！

期 間：2011(平成23)年 3月10日  ～7月10日 

太平洋戦争末期、1945(昭和20)年3月13～14日に、米軍のB29爆撃機の大編隊により大阪市の中心部は火の海となり、それを皮切りに大阪は幾度も大規模な空襲を受け、焦土と化しました。

ピースおおさかでは開館以来、その大空襲の被災状況や被災後の焼け跡などを克明に記録した絵画の収集に努め、小はハガキの大きさから大は人の背丈までの作品を収蔵しています。それらは未曾有の戦災を後世に伝えたい、との気持ちを込めて描かれたものであることはいうまでもありません。

今回の収蔵品展は、昨年「焦土大阪～写真で見る大空襲」展において写真が果たした役割を、絵画に託し、視覚的に大阪大空襲の全貌を明らかにするだけでなく、空襲体験の継承の観点からも、戦争と平和について考えるひとつの機会とするものです。



特別展

「写真に見る『戦争』と『平和』in アフガニスタン」

期 間：7月27日  ～11月23日  参加者：30,129名

現在、最も世界の注目を集めている戦乱の地、アフガニスタン。その人々の苦悩の表情を西垣敬子さん(宝塚・アフガニスタン友好協会代表)撮影の写真から示し、一方、今から約30年前の平和だったころのアフガニスタンでの人々の表情を、その当時に撮影された長島義明さん(写真家)の写真から示すことで、「戦争」と「平和」を写真上で比較し、その相違を明らかにすることにより、戦争と平和について一考する機会としました。

テロと紛争の国と思われがちなアフガニスタンにも平和な時代があり、人々の笑顔がすばらしかったことを示す数々の写真は、来館者に感銘を与えました。

特別展

「戦争の犠牲となった動物たち」

期 間：12月5日  ～ 2011(平成23)年 2月20日  参加者：14,977名

太平洋戦争が始まり、だんだん日本にとって戦局が不利となり始めると、米軍による日本本土の空襲が現実の脅威となってきました。そのため動物園では、空襲で檻が破壊されて猛獣が逃げ出し、人を襲うとの懸念から、トラ、ライオン、オオカミや象までも処分することとなりました。

今回の特別展では、その際に、はく製にされたライオンやホッキョクグマなどを天王寺動物園から借用し、展示しました。人間が始めた戦争に巻き込まれた、何の罪もない動物たち。戦争の愚かしさについて、今一度考える機会とするため開催しました。

会期中に訪れた子どもたちからは、はく製を見て「こわい」という声や、逆に「かわいい」などという声も聞かれましたが、動物たちがかわいそうという意見では一致していました。



16ミリ映画・ビデオ・写真パネルの貸出

地域や学校での平和学習に、16ミリ映画フィルムやビデオ・写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。



「日本平和博物館会議」ロゴ・マーク決定！！

日本平和博物館会議は平和のための活動の輪を広げていきます。

終戦の日平和祈念事業(1)

「講演会と歌で検証する戦争と平和」

日 時：8月7日  午後2時～4時

ナビゲーター：もず 唱平(ピースおおさか理事)

第1部 講演会「日韓併合100年、東アジアの平和を考える ～金大中の遺したもの」

講 師：波佐場 清

第2部 歌 高橋樺子「イムジン河」「オモニの海峡」
田中裕子(ピアノ) 参加者：300人

終戦の日平和祈念事業(2)

「玉音放送と学童疎開」

日 時：8月15日  午後2時～4時

第1部 講演会「玉音放送について」

講 師：福山 琢磨

第2部 映 画「ボクちゃんの戦場」

解 説：奥田 継夫

参加者：300人



開戦の日平和祈念事業

「戦争と動物園～平和といのちの大切さ」(スライドと解説)

日 時：12月5日  午後2時～4時

第1部 講演会「戦時下の動物園」

講 師：高橋 正憲

第2部 講演会「動物と人間」

講 師：高橋 正憲

参加者：106人



大阪大空襲平和祈念事業(1)

「講演会と歌で検証する戦争と平和」

日 時：3月12日  午後2時～4時30分

ナビゲーター：もず 唱平(ピースおおさか理事)

第1部 講演会「見よ この沖縄の現実を ～戦争はつづいている」

講 師：金城 馨

第2部 歌 キム・ランヒ「トラジ」「サランヘ」

高橋樺子「ていんさぐぬ花」 田中裕子(ピアノ) 参加者：280人



ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認めあって同時に存在し得る世界であることを表現しています。

大阪大空襲平和祈念事業(2)

「大阪大空襲と幻の卒業式」

日 時：3月13日  午後2時～4時

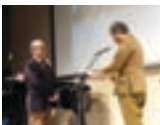
第1部 「証言ビデオ」上映とトーク

矢野 宏 他

第2部 「66年目の卒業式」の挙行

山田紗耶加 他

参加者：271人



「教員のための平和学習講座」

日 時：8月6日  午後2時～4時30分

講義とフィールドワーク

(ピースおおさかの館内及び大阪城周辺の戦跡) 参加者：12人

子ども映画祭り

夏休み 日 時：8月(火～金：16回 / 午後2時～)
戦争童話集(野坂昭如4作品) 参加者：328人冬休み 日 時：1月(5日～7日：3回 / 午後2時～)
戦争童話集(野坂昭如4作品) 参加者：25人

戦跡ウォーク

日 時：毎月第2日曜日

大阪城周辺に残る戦跡をめぐる3コース(中回り・東回り・西回り)
参加者：171人(但し10回、6月は雨天中止・3月は別途企画事業)

平和紙芝居

日 時：第1土曜日(13:00～13:20)
第2木曜日(10:00～10:20)
第3金曜日(13:30～13:50)
参加者：800人(27回)

「ウィークエンドシネマ」

ピースおおさかで所蔵している、戦争や平和についての映画を、多くの方々に鑑賞していただくための機会として実施しました。

参加者：2,865人(毎週土曜 午後2時～ 49回上映)

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

・パネル展示 12月10日～16日(講堂前)

・映 画 会 ①アニメ「めぐみ」
②「めぐみー引き裂かれた家族の30年」
12月11日(土)午後2時～ 参加者：64人

C展示室「世界は今」コーナー

・ガザ紛争

講堂内展示コーナー

・昭和の子どもたち

その他の事業

・ユナイテッド・アースフェスティバル(於 万博記念公園)出張展示

・ハートフルおおさか2010(於 ATC)出張展示